



収穫時の 前かがみ作業で活躍



導入事例

Case Study
Interview

いちご農家

[農業]

ラクな作業が生産寿命をのばす!

中腰などの“不良姿勢”の農作業にも効果を発揮

POINT

- ポイント -

- 装着や使い方はシンプル。1日3時間続く収穫時の中腰作業で活躍
- 腰への負担だけでなく心の負担もラクに
- 健康でいることが農家を続けていく上では重要

— 導入された経緯を教えてください。

県の農業普及センターから紹介されて、トライアルで使い始めたのがきっかけ。うちの場合土耕栽培という土を使って栽培する方法。なので、どうしても収穫の時(いちご苗の高さが低いので)前かがみになってすることが多いので腰に負担がかかるんです。だから、収穫のときはずっと中腰。腰がつかないと思いつつも、我慢しながら作業を続けるしかありませんでした。そうしたときに腰をサポートしてくれるよと、マッスルスーツを紹介されたので、すぐに試してみようと思いました。

— お仕事上どんな課題があったのでしょうか？

土耕栽培だと、収穫には台車を押しながら常に中腰姿勢で摘み取り作業が行われます。収穫中3時間くらいは中腰ですと作業が続くんですね。それを収穫期の11~6月の間ほとんど毎日。そのほかだと定植作業がしたい2日ばかりで10時間くらいは前かがみでやる仕事。これだけ中腰で仕事をする期間が長いと、いくら腰が丈夫でもつかいやすいですね。

— 実際に導入されて、どのような効果がありましたか？

やっぱり全然違いますね。作業が終わった後、体がまったく痛くないし。これは、使いはじめてすぐに実感できた効果。『今日はなんか腰が疲れるな……』と思ったら、その日はすっかりマッスルスーツを忘れていた、ということもあったほど(笑)。

でも、何よりもマッスルスーツを使う一番のメリットは日々の気持ちが楽になることだと思います。これをつければ腰が痛くならないなって思うだけで、仕事に対する気持ちが違ってくるんです。

— 今後、どのように活用していきたいですか？

いちごだけではなく、米や野菜なども作っているんで、とにかく腰に負担のかかるすべての作業で使ってみようと考えています。疲れを忘れてついがんばりすぎてしまうので、その点は注意しなければいけません(笑)。私も妻も腰が楽になったことはたしかなので本当に感謝しています。なにより健康でいることが農家としてはとても大事なので、長く仕事を続けていくためにも、マッスルスーツはこれからもずっと使っていきたいですね。

農業での主な マッスルスーツ活躍シーン

1. 中腰姿勢での摘み取り・収穫作業
2. 収穫物の運搬
3. 定植作業

Interviewee



いちご農家 澤地様